

塔頭西源院を今仮方丈とす。〔近年方丈祝融に罹ればこゝに移す〕 釈迦、迦葉、阿難の三尊を安じ、開山日峰和尚の像を安ず。襖の画は中間惣金極彩色の仙人尽、東の間竹林に虎、西の間琴碁書画、杉戸（表）象（裏）亀俱に狩野永徳の筆なり。此院の林泉又風流にして、上段の地に茶室あり、額蔵六と書す、正法山桂南の筆なり。当寺の後山絹笠山めぐりて雪の日の壯観なり。